

上伊那伊南地域の高校再編に関する意見書

上伊那地域の高校再編については、「地域の未来を担う子ども達を、地域で育てるとの思いのもと、子ども達が自ら成長できる場としての高校教育の環境整備」を軸にした意見書を地域協議会はとりまとめました。本年3月に発表された「再編・整備計画【一次】(案)」では、伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校の再編統合と総合学科高校・総合技術高校の設置が示されました。

上伊那地域は天竜川に沿って南北に広がった地域で、全域に渡ってほぼ均等に居住域が広がり、県人口の8.8%が居住しています。また、県工業統計によれば製造品粗付加価値額で全県の15.2%を占め、住民一人当たりで換算した額で県平均の1.72倍となる県内屈指の製造業集積地であります。この「ものづくり長野」を支える人材を育成する為の、小・中・高・短大・大学そして地元企業へとつながる一貫通貫型のものづくり人材育成システムの配置が、不可欠の地域です。

特に上伊那伊南地域の将来にとって高校再編は重要な課題であります。

上記の観点から、再編の実施案を決定するにあたり、次の事項の実現を強く要請いたします。

記

- 1 上伊那学区内、全日制公立高校への区内進学率63.5%を、70%以上となるよう伊南に質の高い高校を設置する高校再編を実施すること。
- 2 地区内の中学卒業生数に見合った規模の学級数・学校数を配置すること。
- 3 機械科・電気科・情報技術科を含む4学科以上の工業科を1ヶ所に設置した高校を上伊那伊南地区に配置するなど、工業教育の強化充実を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月29日

長野県駒ヶ根市議会

【提出先】長野県知事 長野県教育長